

岩手県

岩手県公立学校退職校長会

設立 昭和40年10月23日

本会は、昭和40年に結成され、令和7年で60周年になる。9月18日19日に結成60周年記念大会、第51回県研修・親睦会「盛岡大会」を、盛岡つなぎ温泉「ホテル紫苑」を会場として記念式典、記念講演、研修・親睦会を開催し、記念誌を発行する予定である。

1 研修と親睦を重視した活動

本会は結成当初から研修活動を重視し併せて親睦の会を行ってきた。全県の研修・親睦会は年1回、1泊2日の日程で県内16の地区会の一つを主管地区会として、ローテーションしてきた。3巡目に入っていたが、会員数の減少により開催が危ぶまれる地区会も出てきたので、令和元年、会員数100名以上の10地区会で県研修を、残りの6地区会は近隣地区会の交流・交歓を狙ったブロック研修の主管を担う研修計画に立て直した。

令和6年度は、県研修・親睦会を沿岸南部の気仙地区会が、ブロック研修会を県中央ブロックの紫波地区会が主管し、地区の特性を生かした主題で学び、懇親が深められた。

現職校長会との教育懇談会は年1回。令和6年度は、退職校長会から「退職後の生活設計」について話題提供のもとに話し合われた。令和5年度から教員の定年延長制度が実施されたが岩手県も役職定年制であり、校長の退職後の活動が役に立つと高評価であった。

盛岡地区会では、令和4年から毎年、盛岡市内の各小・中学校（65校）へ平和を考える一助となる「絵本」（例、ウクライナの民話の絵本「てぶくろ」）を贈呈している。

2 東日本大震災、新型コロナウイルス感染症とその後の対応

東日本大震災の次の年（平成24年）に会員の作詞・作曲による「東日本大震災の犠牲者に捧げる鎮魂の歌」を県研修や地区研修会で歌い継いでいる。

令和2、3年の新型コロナウイルス感染症の影響で、総会、県研修・親睦会、ブロック研修会は中止したが、地区会長の会議や、事務局長会議は感染拡大に留意しながら実施した。

東北地区退職校長会協議会は、令和2、3年は岩手県が会場であったが、コロナ禍により中止・延期。コロナ禍前は1泊2日であったが、令和4年は泊無しで開催した。

熊本地震や能登半島地震の被災県へ、岩手県会員からの募金により支援金を送呈した。

3 「いわて教育の日」の推進

「いわて教育の日」は県条例で平成17年4月1日に施行。毎年秋には「教育の日」の集いで、1教育表彰、2児童生徒発表、3講演を行っている。条例制定の主体だった退職校長会は、平成18年から協賛団体「いわて教育の日推進協議会」の事務局を担当し、「集い」を共催すると共に、会報を年2回発行している。令和6年度、推進協議会の加入団体が1増加し47団体となった。



東日本大震災で被災した吉田家住宅